

『都市の経済学 小テスト No. 5』

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

※□で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

0. あなたの問題用紙番号は1番です。□1に①をマークしなさい。
1. 地主は自分の所有している土地を、□2（①最も高く、②最も安く、③その他）借りてくれる人に貸したい。
2. 都市化による外部不経済が無い場合、家計の付け値地代は、都心から離れるにしたがって□3（①高くなる、②低くなる、③その他）。
3. 都市化による外部不経済がある場合、都心に近い地点ほど対策費用が高くなる。対策費用がかかる場合、同一地点における家計の付け値地代は、外部不経済が無い場合と比べて□4（①高くなる、②低くなる、③その他）なる。
4. 上記の場合、家計の付け値地代が最も高い場所は□5（①都心、②都心から最も離れた郊外、③その他）に現れる。
5. 社会全体の便益は、□6（①オフィスの利潤、②家計の便益、③農家の便益、④地主の利潤、⑤その他）ではかることが出来る。
6. オフィスの立地を制限するような土地用途規制によって、都市化の外部不経済を小さくすることが出来る。この時、外部不経済に対する家計の対策費用は□7（①高くなる、②低くなる、③変わらない）。
7. 上記の場合、同一地点での家計の付け値地代は問3に比べて、□8（①高くなる、②低くなる、③変わらない）。
8. 社会全体の便益が大きくなるならば、外部不経済を適切な水準に抑制するような土地用途規制は□9（①かけた方がよい、②かける必要はない）。

裏に続く…

9. 1 ROOM マンション建設が近隣住民に対して外部不経済を発生させるとしよう。この関係は、需要曲線（私的限界価値 D ）と供給曲線（私的限界費用 S ）、および社会的限界費用曲線 SS として、下図のように描くことができる。以下の問いに答えなさい。

9-1. 近隣住民が負担する1部屋あたりの費用は **10**（①2万円、②3万円、**③4万円**、④その他）になる。

9-2. 外部不経済の発生に対して一切の考慮をしない（＝自由な市場メカニズムにまかせた）場合の均衡点、均衡賃料、均衡取引量、はそれぞれいくらになるか、**回答群A**から選択肢を選び、その番号を記入しなさい。

均衡点：**11** ①、均衡賃料：**12** ⑥、均衡取引量：**13** ⑨

9-3. 上記の場合、さらに消費者余剰、生産者余剰、外部不経済、社会的総余剰はそれぞれいくらになるか、**回答群B**から選択肢を選び、その番号を記入しなさい。

消費者余剰：**14** ⑧、生産者余剰：**15** ⑤、外部不経済：**16** ③、社会的総余剰：**17** ⑨

9-4. 外部不経済を解決するために、政府によって指導・監督政策が適用された。政府が適切な規制水準を「2階」として規制を行った場合、均衡点、均衡賃料、均衡取引量はそれぞれいくらになるか、**回答群A**から選択肢を選び、その番号を記入しなさい。

均衡点：**18** ③、均衡賃料：**19** ④、均衡取引量：**20** ⑦

9-5. 上記の場合、さらに消費者余剰、生産者余剰、外部不経済、死荷重、社会的総余剰はそれぞれいくらになるか。マークシートの裏面に答えを書きなさい。

（「問題番号」と「答え」の両方を書くこと！）

消費者余剰：**21** $D'GJ$ 、生産者余剰：**22** $JGIS'$ 、外部不経済：**23** $SS'HIS'$
 社会的総余剰：**24** $D'GHSS'$ 、死荷重：**25** GE^SH

回答群A

[①E、② E^S 、③G、④J、⑤ P^S 、⑥ P^* 、⑦ Q' 、⑧ Q^S 、⑨ Q^*]

回答群B

[① $D'E^SP^S$ 、② $D'E^S$ 、③ $SS'FES'$ 、④ P^SE^SSS' 、⑤ P^*ES' 、⑥ $SS'E^SE^S'S'$ 、⑦ $D'E^S SS'$ 、⑧ $D'EP^*$ 、⑨その他]

